

教育センター学びの丘研修員研修における学びについて

湯浅町立田村小学校

教諭 池 永 圭 佑

和歌山県教育センター学びの丘における研修員としての研究と修養を通して、教育に関する専門的・技術的な事柄について理解を深められるように研鑽を重ねた。その1年間の学びについて述べる。

修養では、多くの研修員研修や研修講座を受講することで、各教科に関わる専門性をはじめ、教師として学校教育活動に取り組むために必要な知識を広く得ることができた。

研究では、「話すこと・聞くこと」領域と「読むこと」領域の指導事項の関連性を確認し、「読むこと」教材での学びを「話すこと・聞くこと」教材での学習と関連付けて指導することで、児童が話の組み立てを工夫することができるようになるという仮説を立て、所属校での授業研究に取り組んだ。その結果、領域を越えた既習内容の関連付けは、児童の話の組み立ての工夫改善に一定の効果があることが分かった。このことは、新学習指導要領でも示されている学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントについて考える契機にもなった。

今後は、研修員として学んだことを生かし実践に取り組むことで、所属校の児童の成長に還元し、貢献できるよう努めていく。